

《担当者名》細野知子（非） [ t-hosono@redcross.ac.jp ]

### 【概要】

看護研究において、現象学的な思考法が求められる根拠、およびこの思考法が研究プロセスでいかに実施され、看護の知として何をもたらすのかを考察する。

そのため、哲学である「現象学」の歴史的な位置づけと基本的な思想を理解するとともに、「現象学」の他学問への波及を概観して、その仕事の特徴を検討する。そのうえで、看護学での現象学的研究について動向を概観し、具体的な研究例を通じて、研究に求められる現象学的な態度と研究のプロセスを理解し、看護学において「現象学」がなしている仕事について考える。

### 【学修目標】

1. 現象学的研究の思想の枠組み、及び求められる態度を理解できる。
2. 現象学的研究の例をもとに、具体的な研究方法と研究成果の読み方を学ぶ。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	現象学と現象学的研究	・現象学の基本的な考え方と歴史的な位置づけを学ぶ。 ・哲学である現象学が他の学問分野で現象学的研究として用いられ、それが成し遂げている仕事を学ぶ。	細野
3 ) 4	現象学的看護研究の実際 動向 研究計画（研究疑問・文献検討・研究方法論）	・看護学における現象学的研究の動向を学ぶ。 ・現象学的看護研究の計画の実際（研究疑問から研究デザイン）を学ぶ。	細野
5 ) 6	現象学看護研究の実際 研究遂行（データ収集・データ分析・記述・考察） 研究成果の公表・看護学の知への	・現象学的看護研究の遂行の実際（データ収集、データ分析、結果の記述、考察）を学ぶ。 ・現象学的看護研究成果の公表の実際、看護学の知における位置づけを学び、活用可能性を考える。	細野
7 ) 8	現象学的研究の具体例	・現象学的研究において、現象学がどのように導入あるいは参照されているのかを、自身で選んだ先行研究を通じて検討する。	細野

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

議論への参加（60％）と課題レポート（40％）で評価する。

### 【教科書】

松葉祥一・西村ユミ編、『現象学的看護研究』、医学書院、2014年  
その他、適時コピーを配布する。

### 【参考書】

1. メルロ=ポンティ、『知覚の現象学1』、みすず書房、1967年
2. 榎原哲也、『医療ケアを問いなおす 患者をトータルにみることの現象学』、ちくま書房、2018年
3. ベナーノルーベル、『現象学的人間論と看護』、医学書院、1999年
4. 細野知子、『病いと暮らす 二型糖尿病である人の経験』、新曜社、2023年

### 【学修の準備】

テキストの第3部、第1～3章を事前に読んでおく。

課題レポートとして、現象学的研究に関する論文を1編読み、その論文において現象学的研究が必要とされた理由を論じること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

<看護学専攻>

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

<臨床福祉学専攻>

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという臨床福祉学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。